

No.229

梅雨の季節となりました。灰色の空の下では、気分も沈みがちですが、たまには雨音を聞きながら、ゆったりと読書などをしてみると、新しい発見があるかもしれません。また、おしゃれなレインコートやレインブーツなど、雨の日ファッションで、日本の梅雨の風景であるアジサイを見に行くのもこの季節ならではの楽しみのひとつです。今年の梅雨は、例年より短いそうです。暑い夏がやってくるまで、十分に体力を蓄えておきましょう。

今月のマンスリーレビュー、梅雨のひとつきに読んでいただければ幸いです。

各カンパニーから元気な話題をご紹介します。

まずは、交通産機品カンパニー。米国のインターナショナルクランクシャフト社が米国トヨタ殿、米国ホンダ殿より、2008年度の「社長賞」をダブル受賞しました。米国でのクランクシャフトのシェアは、トップを誇っています。

次は、鋼管カンパニーです。三菱重工業（株）長崎造船所殿より、「CS改善表彰 所長賞（優秀賞）」を受賞しました。この賞は、三菱重工業（株）殿の社内の表彰ですが、同社の皆様と協力して競争力向上に取り組んだ活動が高く評価されて、材料メーカーとして初めての受賞の栄に浴しました。

私たちは、これからもお客様に満足していただける最高のパフォーマンスを目指して、がんばっていきます。

目次

● お客様より社長賞をダブル受賞

インターナショナルクランクシャフト社（ICI社）が、米国トヨタ殿、米国ホンダ殿より「社長賞」受賞

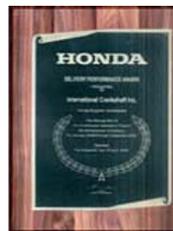
● お客様評価No.1企業を目指します

三菱重工業（株）長崎造船所殿より「CS改善表彰 所長賞（優秀賞）」を受賞

● お客様より社長賞をダブル受賞

<インターナショナルクランクシャフト社（ICI社）が、米国トヨタ殿、米国ホンダ殿より「社長賞」受賞>

米国ケンタッキー州にある、私たちのクランクシャフト製造子会社、インターナショナルクランクシャフト社が、米国トヨタ殿、米国ホンダ殿より、2008年度の「社長賞」をダブル受賞しました。米国トヨタ殿からは、5年連続で「Quality Award」（納入品質に関する表彰）を、米国ホンダ殿からは、2年ぶり4度目の「Delivery Award」（納期に関する表彰）をそれぞれいただきました。



鍛造クランクシャフトは、自動車エンジンの重要部品で、ピストン運動を回転運動に変える軸です。私たちの得意分野のひとつです。クランクシャフトは大きな荷重を受けて高速回転するため、高品質・高精度で高い耐久性が求められ、製造難易度も高い製品です。

長年にわたり、信頼性の向上に努め、お客様のご要望に応じてきた私たちの真摯な取り組みを、品質・納期の両面で評価いただいた今回のダブル受賞は、大変名誉なことです。

交通産機品カンパニー製鋼所（大阪市）では、乗用車、トラック、建設機械用などあらゆるサイズのクランクシャフトを生産しており、海外でも米国・中国で事業を展開、さらにこの5月にはインドへの進出も決めて、自動車用クランクシャフト市場の世界シェア10%獲得がほぼ確実になっています。

インターナショナルクランクシャフト社（ICI社）は、その米国での視点で、1992年に操業を開始、現在は3基の鍛造プレスラインを保有し、自動車用の小型鍛造クランクシャフトを製造販売しており、米国でトップシェアを誇っています。

私たちは「強いところをより強く」の基本戦略を押し進め、需要の成長が著しいインドの工場も含め、自動車メーカーのニーズにグローバルに対応していきます。

● お客様評価No.1企業を目指します

<三菱重工業（株）長崎造船所殿より「CS改善表彰 所長賞（優秀賞）」を受賞>

この度、私たちは、三菱重工業（株）長崎造船所殿（以下三菱長崎殿）より、「CS（Customer Satisfaction）改善表彰 所長賞（優秀賞）」を受賞しました。これは私たちの鋼管部門と三菱長崎殿が協力して競争力向上に取り組んだ活動に対し贈られたものです。同賞は社内の功績に対し授与される賞であり、材料メーカーとしては初めての受賞です。

三菱長崎殿との関係は、私たち、住友金属工業の前身である住友伸鋼所に、尼崎工場（現在の特殊管事業所）が設立された1919年（大正8年）にまでさかのぼります。以来、私たちは、高品質な鋼管を供給することで、三菱長崎殿が高性能なボイラを、エンドユーザーに納入できるよう貢献してきました。この永きにわたる関係は、私たちと同社の深い信頼の証であり、今回のような会社の枠組みを超えた活動、そして、その活動に対する材料メーカーとして初の受賞という栄誉は、このような信頼関係なくしては成しえなかったものです。

今回の活動は納期短縮と生産性向上を目的として2007年6月に開始しました。年間で両社合わせ、のべ200人以上の人員が参加する大規模なプロジェクトとなり、膨大な数の検討項目が議論されました。特に、三菱長崎殿が長年採用してきた設計手法を大胆に改革しボイラに使用するシームレス鋼管のサイズの標準化や仕様の最適化を行ったことで、両社の生産性が格段に改善しました。今回、この点が高く評価されました。

この活動により、三菱長崎殿では、ボイラの見積、受注から製造、完成引渡しまでの納期が大幅に短縮されました。電力の不足が深刻な発展途上国では、人口の増加や生活水準の向上に伴い、早急な電力の手当てが望まれています。そのため高性能かつ短期間で納入が可能な同社の製品は、高い受注競争力を有し、社会インフラの進歩に貢献できると期待されています。

今回の活動は、従来とは違い営業や資材部門だけでなく製造、工程、設計部門が参加した、まさに両社の製販技一体となって進められました。その結

果、部門の最適化だけでなく、会社としての最適化、さらには会社を超えた最適化を考えた活動内容が、三菱長崎殿のみならず、全社的に評価されています。今年度も引き続きこの活動は継続しており、活動の輪は広がっています。私たちは、今後も鉄鋼素材販売の枠を超え、お客様の問題解決へのお手伝いを積極的に行い、お客様評価No. 1企業を目指します。

